

平成28年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	災害警備活動に係る装備資機材の校正			担当部局	復興庁		作成責任者			
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官	後藤 浩平		
会計区分	東日本大震災復興特別会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第7号			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災に伴う行方不明者の検索、御遺体の収容、避難指示区域等の警戒・警ら活動等の災害警備活動を継続的かつ確実に推進することを目的としたものである。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	これまで警察では東日本大震災に伴い、行方不明者の捜索、福島第一原子力発電所周辺の避難指示区域等における警戒・警ら活動等を行っているところであり、今後もこれらの活動を継続的かつ確実に実施する必要があるところ、同発電所周辺地域における放射線量は依然として高い状態にあり、災害警備活動を実施するためには放射線量の管理は重要である。そこで、「個人被ばく線量計」や「サーベイメーター」等の放射線検知器類について、放射線量が正確に検知されるよう、定期的な確認校正を行うもの。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算の状況	当初予算	38	40	14	7	6			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	38	40	14	7	6				
	執行額	2	11	11						
執行率(%)	5%	28%	79%							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
	福島県における災害警備活動の実施に必要な人員の確保(延べ人員)	福島県への特別派遣人員数(延べ人員)	成果実績	人	87,482	81,078	63,940	-		
			目標値	人	167,900	83,950	65,700	-	0	
			達成度	%	52.1	96.6	97.3	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	校正する放射線検知器類の数	活動実績	個	123	2,695	2,128				
当初見込み		個		3,018	3,018	3,018	1,375			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	執行(予算)額/校正する放射線検知器類の数	単位当たりコスト	千円	14.4	3.8	5.2	5.1			
		計算式	/		1,777/123	10,263/2,695	11,169/2,128	7,050/1,375		
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	放射線検知器類の校正	7	6	校正する放射線検知器類の数量を見直したため。						
	計	7	6							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I. 市民生活の安全と平穩の確保							
	施策	1. 総合的な犯罪抑止対策の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 32年度
		原子力関連施設に対する警戒警備体制に必要な放射線検知器類の校正の数	実績値	個	123	2,695	2,128	-	-
			目標値	個	3,018	3,018	3,018	-	-
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
原子力関連施設の警戒に必要な資機材を校正し、正確に使用できる状態を確保することで、同施設に対する適切な警戒警備の実施を図ることができる。									

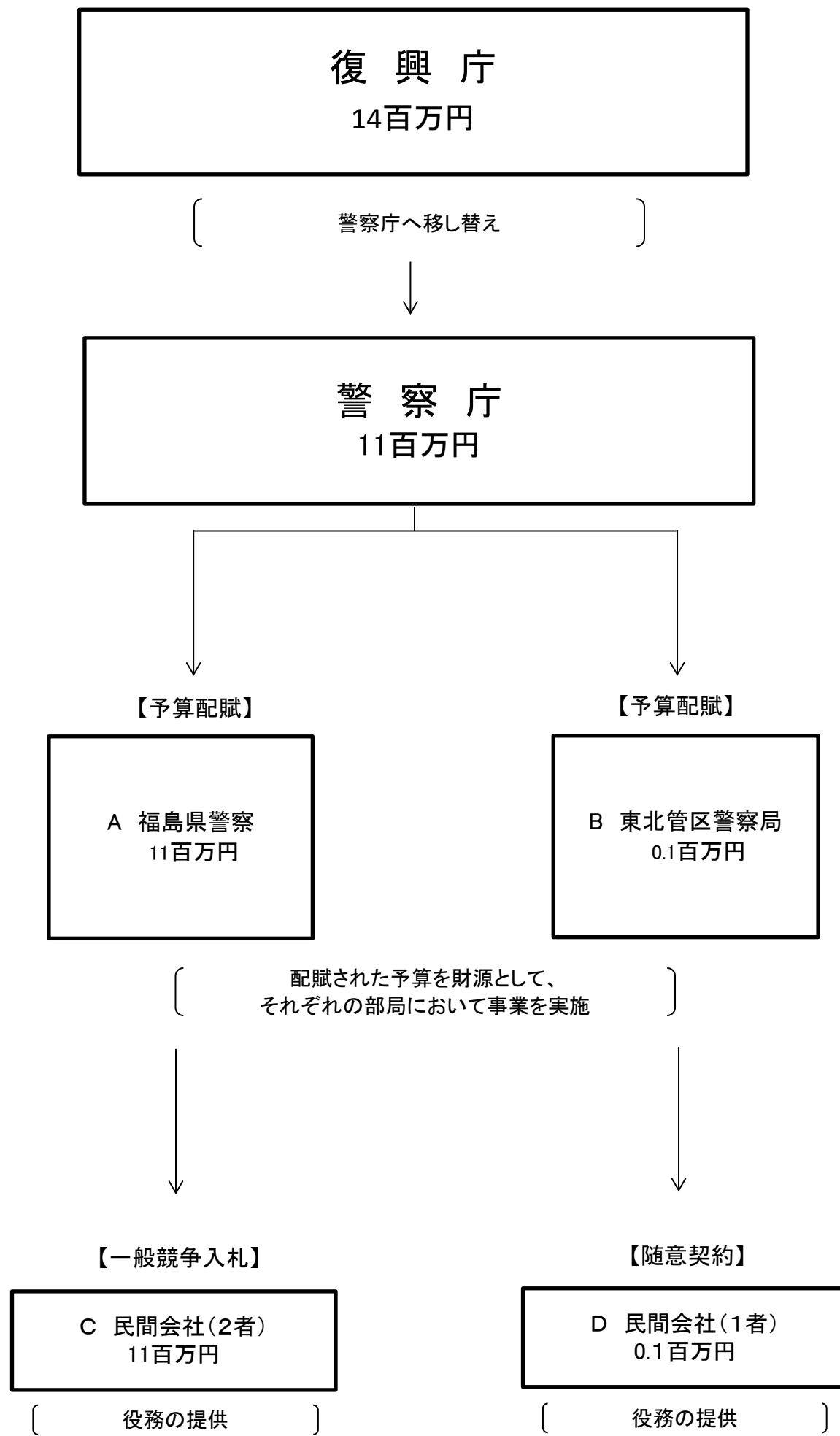
事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	福島第一原子力発電所周辺の避難指示区域等において警戒・警ら活動を行っているところ、被災地における安全・安心の確保は復興の礎となるものであり、これらの活動を継続的かつ的確に実施するために必要な本事業は国民や社会のニーズを的確に反映したものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は被災地における復興のための事業であり、国として継続的に取り組む必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	福島第一原子力発電所周辺の避難指示区域等における警戒・警ら活動を今後も継続する必要があるところ、同区域等における放射線量は依然として高い状態にあり、当該地域において災害警備活動を実施するため本事業は必要かつ適切である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	契約は一般競争を基本としており、支出先の選定は適切なものである。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は「東日本大震災からの復興の基本方針」に従い、被災地における復興のために必要な事業であり、国が負担する事業として適切なものである。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	執行実績を把握し、絶えず機器の校正単価の見直しを図っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	放射線検知器類の校正経費に支出されており、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	競争入札を実施したところ、想定よりも安価での落札・契約となったことから、不用額が生じた。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方法の検討を行っている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	目標達成率は97.3%となっており、成果実績は成果目標に見合っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	既存の放射線検知器類を校正する方が、新規に整備するよりも低コストで実施可能である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	達成率は70.2%（見込み3,018個、活動実績2,128個）となっており、活動実績は見込みにほぼ見合っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	福島第一原子力発電所周辺地域における放射線量は依然として高い状態にあり、災害警備活動を実施するためには放射線量の管理が必要不可欠であることから、校正された放射線検知器類は十分活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	関連事業なし	
点検・改善結果	点検結果	支出先、用途については、東北管区警察局及び福島県警察から執行状況の報告を受けており、把握している。			
	改善の方向性	校正を行うに際し、一般競争入札を実施したところ、想定よりも安価での低価格入札となったことから、不用額を生じている。27年度の調達実績（単価）を28年度予算要求に適切に反映する。			
外部有識者の所見					
引き続き、適切な進捗管理、効率的な執行に努めること。また、支出先の選定に当たっては、競争性を確保する取組を行うこと。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	これまでの執行実績を踏まえ事業規模の見直しを行うことが適当である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	執行実績を踏まえ事業規模の見直しを行い、減額のうち平成29年度予算要求を行った（前年度比1百万円減）				
備考					
内閣府（警察庁）において執行					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	新25-010	平成26年度	025	平成27年度	0025

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万
円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.福島県警察本部			B.東北管区警察局		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	予算配賦	事業実施に要する経費	11	予算配賦	事業実施に要する経費	0.1
	計		11	計		0.1
	C.(株)千代田テクノル福島復興支援本部			D.(株)千代田テクノル福島復興支援本部		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務の提供	放射線検知器類の校正	11	役務の提供	放射線検知器類の校正	0.1
	計		11	計		0.1
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県警察本部	7000020070009	予算配賦	11	-			

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東北管区警察局	8000012130001	予算配賦	0.1	-			

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)千代田テクノル 福島復興支援本部	7010001004851	災害警備活動用放射線測定器(日立アロカメディカル(株)製)の校正	8.9	一般競争入札	2	98%	
2	(株)千代田テクノル 福島復興支援本部	7010001004851	災害警備活動用放射線測定器(富士電機(株)製)の校正	1.4	一般競争入札	1	88%	
3	オガワ精機(株)	4011101004067	災害警備活動用放射線測定器(ガンマソニックス社製)の校正	0.6	一般競争入札	1	48.5%	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)千代田テクノル 福島復興支援本部	7010001004851	線量計点検校正	0.1	随意契約 (少額)	1	97.8%	